

## 目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向け取り組む目標について話し合います。  
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	4	運営推進会議に関して	家族・地域住民・行政の参加を促し、多様な意見をホームの運営やサービスに反映させていく。	家族や地域住民に対し、自治体の催しや自施設での行事に参加依頼し、活動内容に興味を持っていただき参加を依頼していく。行政とのやりとりを密にし、行政関係者にも参加してもらえよう努める。	12ヶ月
2	35	災害対策に関して	地震と火災に備えた避難方法を全職員で共有できるようにしていく。 地域住民にも協力してもらえよう関係作りを行っていく。	地震時と火災時の対応マニュアルを全職員で共有できるようにする。消防士立会いの訓練を実施し、消火器等の使い方も含め知識を得られるようにする。運営推進会議等で、地域住民との交流も図れるように努める。緊急連絡網を整備し、万全な対応ができるようにする。	12ヶ月
3	11	職員の意見の反映に関して	利用者にとってより快適な生活環境になるよう、また職員にとっても働きやすい環境となるように、話し合える環境を整えていく。	月に一度の職員会議において、意見や改善案等を話し合える時間を設け、ホーム全体の課題を管理者が把握し、必要に応じて経営層との話し合いの場で意見や提案ができるようにしていく。個人面談にて職員の小さな声もくまなく聞き取れるようにする。	6ヶ月
4	33	重度化及び看取りに関する指針に関して	重度化及び看取りに関する指針の内容を全職員で共有できるように努め、尊厳に十分配慮した終末期の介護を行えるようにしていく。	職員会議、ミーティングにおいて、対応や介護方針等について全職員に周知できるよう努めていく。 契約時に、家族と書面合意できるようにする。	6ヶ月
5	6	身体拘束をしないケアの実践に関して	職員一人ひとりのさらなる意識向上を図る。	各種研修を利用し、職員会議やミーティングを通じて基礎知識を共有していく。	6ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。